

第8回東北風景街道協議会における表彰結果について

平成24年3月7日に開催した第8回東北風景街道協議会において、課題解決に向けた取り組みの共有と活動に対する育成のため、また、今後の活動の励みにしていただくことを目的に表彰を実施いたしました。

○ビューポイント・景観部門

「のしろ白神の道」

[受賞理由]

地元の資源である秋田杉を活用することにより地元らしさを演出し、そこでしか体験できない地域資源の魅力があふれている。また、維持管理による良好な景観の創出や剪定作業の技術者養成は今後の取り組みの継続性が見られ、他の模範となるものと評価される。

「黄花紅の東むつ湾ルート」

[受賞理由]

道を魅力的にする景観整備であり、来訪者を楽しい気持ちにさせたい姿勢が感じられる。また、継続的な作業の取り組み姿勢も他の模範となり評価される。

○滞留拠点部門

「桑折宿まちなか街道」

[受賞理由]

歴史的建造物の有効活用やボランティアによる来訪者との交流などは、訪れた人をもてなしたい、楽しませたいという姿勢が強く感じられ、地域活性化や観光振興へも寄与しており評価される。

「城下町あいづ道草街道」

[受賞理由]

にぎわいやおもてなし、くつろぎ空間として楽しく休める滞留拠点を道路に創出しており、商店街の活性化や観光振興に寄与しており評価される。

○広報PR部門

「のしろ白神の道」

[受賞理由]

積極的な広報活動が行われており、ホームページ内容も参加者の感想を掲載するなど内容が充実している。また、地元イベントへの協力も積極的に行われており、地域振興へもつながっている。さらには、コストをかけずに手づくり感のある情報発信は他の模範となり評価される。

○協議会特別部門

「ふくしま浜街道ハッピーロード」

[受賞理由]

清掃活動は地道な取り組みであるが、清掃規模や参加規模が大きく地域貢献度が高い。また、中高生を中心とした活動により、道路への愛着や道路の景観を考える思いを育成することへもつながっており評価される。

「出羽の古道 六十里越街道」

[受賞理由]

多くの関係者の取り組みの輪が沿線市町村連携した幅広い活動展開となっており、新たな観光資源の創出や歴史ある街道を中心とする地域観光振興へ寄与した長年の取り組みが評価される。

～表彰式の様子～

